

厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服政策研究事業）
分担研究報告書

オーダーメイドな肝炎ウイルス感染防止・重症化予防ストラテジーの確立に資する研究

研究分担者 恵谷 ゆり 大阪母子医療センター 消化器・内分泌科主任部長

研究要旨

B型肝炎ワクチン定期接種開始後のB型肝炎ウイルス感染およびワクチン効果の実態を明らかにするために、当センター臨床検査部に保存されている残血清を廃棄前に回収し、HBs抗体価およびHBc抗体価を測定するための方策を構築し、検体の提出を行った。

共同研究者

森岡一朗、岡橋彩（日本大学医学部附属板橋病院小児科・新生児科）

須磨崎亮（茨城県立こども病院小児科）

酒井愛子（国立国際医療センター）

田中敏博（静岡厚生病院）

A. 研究目的

B型肝炎ワクチン定期接種開始後のB型肝炎ウイルス感染およびワクチン効果の実態を明らかにする。

型肝炎ウイルス感染およびワクチン効果の実態を明らかにできるものとする。

E. 健康危険情報

なし

B. 研究方法

大阪母子医療センター臨床検査部において検査を行ったあとの残血清を廃棄前に回収し、HBs抗体価およびHBc抗体価を測定する。

（倫理面への配慮）

本研究については研究代表者の森岡一朗により日本大学医学部附属板橋病院において中央一括審査による倫理審査を受け、その後大阪母子医療センター倫理委員会でも承認を受けた。

C. 研究結果

2022年2月17日に245検体を回収し、株式会社LSI目ディエンスに提出した。

D. 考察

今年度は残余血清の回収方法や対象をどうするか共同研究者と協議を重ね、検体の回収を開始する段階に至った。次年度には十分な検体の回収と解析を行い、B型肝炎ワクチン定期接種開始後に小児におけるB